

PRESS RELEASE

ギャラリー小柳 展覧会のご案内
熊谷亜莉沙 | Single bed
2019.5.16 (木) - 6.22 (土)



Single bed

父が孤独死した。
冬を越え、春になってしまったようで地元の新聞にも載った。
それが父であるか判別するのに2ヶ月かかった。
彼はまだ50代だった。

葬式も無かった。
その後彼の実家に直接行ったのは私ひとりで、母は大きな花束だけ彼に手向けた。
最近のお供え花は、それとは思えないほどに華やかできれいだ。

あれからもうずっと、母が手向けた美しい花のことを考える。

どうしようもなく人が人を愛してしまうことも、憎んでしまうことも、気が狂いそうなほどの寂しさも、
手放しがたい孤独も。

眠ることは小さな死だという。
私は今日も自分のシングルベッドで眠る。

熊谷亜莉沙

報道関係者各位

平素よりお世話になっております。

この度ギャラリー小柳では、2019年5月16日（木）から6月22日（土）の会期にて熊谷亜莉沙の初個展「Single bed」を開催いたします。

熊谷亜莉沙は1991年大阪生まれ、京都在住。2013年に京都造形芸術大学洋画コースを卒業し、2015年に同大学大学院総合造形領域を修了。卒業・修了制作展では千住博奨励作品賞や優秀賞など数々の学内賞を受賞し、在学中にはシェル美術賞（2013年）、上野の森美術大賞展（2014年）に入選しています。2017年にギャラリー小柳で開催したグループ展「Portrait」に自身の祖父をモデルに描いた3点の油彩作品で参加し、その不穏な存在感をたたえたトリプティックは国内外から大きな反響を得ました。本展では約2年間をかけて取り組んだ新作の中から、シングルベッドサイズの大作《Single bed》を含む7点を発表いたします。

熊谷の作品の出発点には常に自身のバックグラウンドが色濃く反映されます。しかし、彼女が表現しようと試みているのは、非合理的で矛盾に満ちた“どうしようもない”人間のありよう、富裕と貧困、生と死、愛と憎しみが表裏一体であるという普遍的な事実であり、卓越した写実表現は、自身が確かに目にしてきたものに形を与えるための手段なのかもしれません。

「Portrait」展で見せた Leisure Class*シリーズは熊谷の生まれ育った環境に由来する考え方や信条を視覚化する仕事でしたが、本展ではそのコンセプトの延長線上にありながらも、彼女の意識はより周囲に展開します。死という出来事に起因する人々の心の動きは、時に献花として、親が子に与えた子供靴として、信仰の対象として立ちあらわれ、それらを冷静にとらえた作品群は人間の本質の一端を提示するかのようです。

展覧会の初日、5月16日（木）は午後6時から作家在廊にてオープニング・レセプションを行ないます。ぜひお立ち寄りいただけますようお願いいたします。

資料および図版のご依頼は担当者までご連絡ください。ご掲載の際にはご一報いただけますよう宜しくお願い申し上げます。

ギャラリー小柳

* Leisure Class : アメリカ人経済学者、社会学者ソースティン・ヴェブレンの著作『有閑階級の理論 (The theory of the Leisure Class)』（1899年）の中で定義されたもので、きわめて高価な商品を社会的威信を示すために消費するような人々のことを指す。

【広報用図版】



キャプション：

(日本語表記) 熊谷亜莉沙 《Single bed》2018年 油彩・パネル 195 x 97 cm
(英語表記) Arisa Kumagai, *Single bed*, 2018, oil on panel, 195 x 97 cm

クレジットライン：

© Arisa Kumagai / Courtesy of Gallery Koyanagi

【展覧会概要】

作家名：熊谷亜莉沙（くまがい ありさ）

展覧会名：Single bed

会期：2019年5月16日（木）～6月22日（土）

[オープニング・レセプション 5月16日（木）18:00～20:00 作家来廊]

開廊時間：11:00～19:00

休廊日：日・月・祝祭日

会場：ギャラリー小柳

東京都中央区銀座1-7-5 小柳ビル 9F

Tel: 03-3561-1896 Fax: 03-3563-3236

交通：東京メトロ有楽町線 銀座一丁目駅7番出口より徒歩1分

丸ノ内線・銀座線・日比谷線 銀座駅A-9出口より徒歩5分

URL：<http://www.gallerykoyanagi.com>

お問い合わせ／写真請求先：ギャラリー小柳（担）善名／笠松

電話 03-3561-1896 | メールアドレス mail@gallerykoyanagi.com

【参考資料】



展示風景「Portrait」ギャラリー小柳（2017年）
© Arisa Kumagai / Courtesy of Gallery Koyanagi

Leisure Class

生まれ育った町は、日本に二つのみ残る遊郭街の一つである。
私は父によるDV家庭の子供であり、底辺の生活は身近であった。
家業はイタリアンハイファッションの専門ブティックであり、遊郭の真裏にある。
ハイブランドに囲まれ、華やかである事が世界の中心であると、まさしく叩き込まれて育った。

生まれたのは1991年、日本のバブル経済が崩壊の兆しを見せた、ちょうどその時だった。
私の肌は覚えている。世界の華やかさを、その恐ろしく急激な終わりを。
富と貧困、生と死が常に顕示欲求に繋がれ、隣り合わせになることを知っていた。
とおいその中心を眺めようとすると、時折特異点として現れる「異形」のエネルギーを感じていた。
その異形は、人のかたちを持ち、余剰という名をしている。

私の大きなテーマとして存在する「Leisure Class」という言葉は、
アメリカ人経済学者、社会学者であるソースティン・ヴェブレンの著作
『有閑階級の理論 (The theory of Leisure Class)』(1899年)の中で定義されたもので、
きわめて高価な商品を、社会的威厳を示すために消費する人々を指す。
富、貧困、生、死、顕示欲求、それらすべては余剰が生む人間の普遍的なサイクル。
それは、私の家族の深い根底にあるものではなかったか。
あらゆる世界の縮図を孕んでいるのではなかったか。

私は私の信仰を信じている。
私の信仰は「余剰」だけが成せるもの信じるということだ。
しかし同時にそれが、深淵のように暗く、切ないことを知っている。
富、貧困、生、死、顕示欲求、承認欲求、憎しみ、愛

熊谷亜莉沙

熊谷亜莉沙 略歴

- 1991 大阪生まれ
 2013 京都造形芸術大学 洋画コース卒業
 2015 京都造形芸術大学大学院 総合造形領域卒業

個展

- 2019 Single bed (ギャラリー小柳・東京)
 2015 Leisure Class/熊谷亜莉沙個展(Gallery Art Composition・東京)
 2013 熊谷亜莉沙個展/MAMA (atamatote2-3-3・東京)

グループ展

- 2017 Portrait (ギャラリー小柳・東京)
 2016 ULTRA x ANTEROOM exhibition 2016 (ホテルアンテルーム京都・京都)
 ARTOTHÈQUE SELECTION 2016 (京都造形芸術大学・京都)
 2015 スタジオハイデンバンオープンスタジオ (スタジオハイデンバン・京都)
 混沌展/京都造形芸術大学選抜展(スパイラル・東京)
 京都造形芸術大学大学院 修了制作展 (京都造形芸術大学・京都)
 2014 Politics Narcissism (ARTZONE・京都)
 熊谷亜莉沙 田中裕子 山崎鈴子三人展 (画廊くにまつ・青山/京都)
 佐藤国際文化育英財団第 23 回奨学生美術展 (佐藤美術館・東京)
 名古屋芸大、京都造形選抜交流展 (名古屋芸術大学・名古屋)
 東京藝術大学大学院 小林正人研究室 × 京都造形芸術大学大学院
 Pr PROJECTS 交流展 (Pr PROJECTS room・京都)
 SPURT 展 (京都造形芸術大学・京都)
 上野の森美術大賞展 (上野の森美術館・東京)
 2013 シェル美術賞 2013 (国立新美術館・東京)
 HOP 展 (京都造形芸術大学・京都)
 PARADE (3F project room・京都)
 「はじまりの部屋」京都造形芸術大学卒業制作選抜展 (康耀堂美術館・長野)
 京都造形芸術大学卒業制作展 (京都造形芸術大学・京都)
 2012 弘益国際美術祭 (弘益・韓国)
 ワスレモノハナンデスカ 掌の珠玉 (ギャラリーi・京都)
 学科優秀選抜展「めばえ」 (京都造形芸術大学・京都)
 ARTZONE SELECTION 展「増殖する自己と他者の血脈の響鳴」 (ARTZONE・京都)

受賞歴

- 2015 京都造形芸術大学大学院修了制作展 優秀賞
 2014 SPURT 展 浅田彰賞
 上野の森美術大賞展 入選
 2013 シェル美術賞 入選
 京都造形芸術大学卒業制作展 千住博奨励作品賞、瓜生山賞、学科賞
 2013 年度 公益財団法人佐藤国際文化育英財団・佐藤美術館 指定奨学生
 2013 年度 公益財団法人 日本文化芸術財団 指定奨学生